

麻生地区自主防災・減災推進協議会の取り組みについて

麻生まちづくり協議会 会長（麻生地区自主防災・減災推進協議会 会長） 大門 隆司

【はじめに】

麻生地区においては、平成27年11月に、麻生まちづくり協議会が中心となって、地域が自主的かつ主体的に防災・減災に係る取り組みを推進するための組織である「麻生地区自主防災・減災推進協議会」を設置するとともに、地区内に3か所ある収容避難場所に応じて、麻生地区を3つの区域に分割し、それぞれの区域ごとに罹災者が避難すべき避難所（「町内会区域別収容避難場所」）を定めました。

◆麻生地区の3か所の収容避難場所と区域別3グループの構成◆

区域別グループ	収容避難場所	対象となる町内会
A	麻生総合センター（地域避難所）	麻生中央、麻生町北、麻生西、チサン麻生、麻生駅前、麻生市営住宅
B	和光小学校（基幹避難所）	南麻生、創成西、麻生南、インペリアル札幌
C	北陽中学校（基幹避難所）	学田西、とうひ、パストラル、和光、インペリアル麻生、ヴェルビュ麻生

その後、これら3つのグループ別に検討会を継続開催し、実際の避難所運営に当たって必要となる防災用品についての研究を行うとともに、購入した物品を活用した防災訓練や研修会等の自主防災活動を行ってきました。

また、これと併せて麻生地区全体の防災研修会も開催してまいりました。

【平成29年度の防災研修会開催等の状況】

1 防災全体研修会など

11月29日に麻生地区会館で開催した第1回全体研修会では、48名が参加して、Cグループの活動成果と独自にまとめた「避難所開設マニュアル」に関する要点発表や、参加者同士の意見交換を行いました。



麻生地区会館での第1回研修会の様子



防災グッズ紹介



ダンボールを用いた「避難所生活スペース」間仕切り体験

◆麻生地区自主防災・減災推進協議会の取り組みについて

また、平成 30 年 3 月 2 日開催の第 2 回研修会では、札幌市防災協会の防災・危機管理専門官である細川雅彦氏を招いて「都市型大規模地震災害に備えて」をテーマに講演していただきました。

2 地域イベントと連携した防災体験プログラムの実施

2 月 25 日には、麻生地区会館内で実施された麻生商店街振興組合主催のイベント「あさぶおすそわけマーケット」に併せて、麻生緑地で北海道防災士会の指導の下、雪中・かまくらでの耐寒体験や厳冬期の屋外での火起こし体験などを行いました。



屋外での火起こし体験

【平成 30 年度の自主防災活動の状況】

前年度に引き続き防災全体研修会やグループ別勉強会を開催するほか、新しい取り組みとして、藤女子大学食物栄養学科の協力を得て、「家庭でできる防災食講習会」を 11 月 29 日に「麻生キッ



藤女子大学 村田まり子先生の講話

ンりあん」において開催し、災害時の野菜不足に対応するための乾燥野菜の利用方法や、日常の食べ物を非常食に転用するノウハウを身に付け、それらを消費期限に合わせて定期的に食べて消費し、新たに補充するローリングストック法(回転備蓄)などについて学びました。



切干大根を使った漬物の作り方

【北海道胆振東部地震を体験して】

平成 27 年に「麻生地区自主防災・減災推進協議会」を発足して以来、私どもは、地域ぐるみで積極的に災害に対応するための勉強会や訓練等を重ねてまいりましたが、9 月 6 日に体験した北海道胆振東部地震は、多くの地域住民に、あらためて災害の恐ろしさと、これに派生する様々な想定外の出来事が発生する可能性を思い知らしめました。

災害は決して他人事ではなく、いつでもどこでも誰でもが体験する可能性があります。そして、それを実体験したことにより、私たちは、これまでの取り組みの中で、何が不足していたのか色々と反省させられるとともに、これからは、自分たちができる範囲で、何に、より力を注いでいかなければならないのか、実感をもってイメージできるようになった気もいたしますので、今後ともしっかりと地域に密着した地道な取り組みを継続してまいりたいと考えております。

○お問い合わせ

麻生まちづくりセンター

TEL. 011-757-5810